



第 136 号
令和 8 年 2 月発行
長野県
社会福祉事業団
長野県信濃学園
〒390-1401
松本市波田 4417-8

『信濃学園のあり方』

(地域から求められる役割とは)『

所長 藤原 香澄

「子どもを取り巻く環境は多様化・複雑化しており、様々な状態像の子ども達やご家族が学園の利用を希望していただいています。その様な中で、私たちに求められている役割とは何でしょうか。今回は、入所利用以外の側面についてお伝えします。

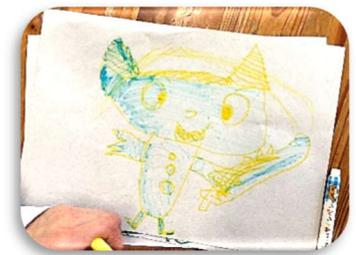
放課後等デイサービスや療育「コーディネーター」等、子ども達を支える地域の資源や福祉サービスは、以前に比べて増えています。しかし、いつもの暮らしの中では、なかなか生活を整えることが難しいことも達やちよっと生活に疲れてしまったご家族もいらっしゃると思っています。

私たちは、一定期間または定期的

に、出身地域やご家庭から離れて生活することで、「子ども自身の生活リズムが整ったり、暮らす生活環境や支援体制を整えることが出来たり、「ご家族がちよっとお休みできれば、今の生活を継続することが出来る」子ども達や子どもを支えるご家族がいると考えています。

新しい環境や経験していない事に不安を感じるお子さんもしょしゃると思えます。見学や学園を利用する事が経験の一つになり、将来の選択肢が増えることに繋がればとも思っています。新しい経験の場を提供することも出来ます。学園の役割りの一つでもあります。

学園の利用が、ご家族や地域を支える資源の一つになること、地域の皆さんに認識される様に今後も短期入所や日中一時支援のご相談をお受けしていきたいと思えます。



『熊(安全計画)』

支援課長 小松 聖司

昨年の「今年の漢字」に「熊」が選ばれました。熊については、学園通信132号(令和6年11月)において「安全計画の変更手続き」の例としてとりあげたことがあります。昨年10月27日の午後、「学園の近くにある高校に熊が出没したから注意するように」との連絡が警察から入りました。また、地域の防災無線でも注意喚起がされました。その日の夕方に山形村のショッピングセンターで捕獲されたという事は、学園のすぐ近くを走り抜けていった可能性があります。注意喚起があった時間帯は、ちよっと休校日である外出中の小学生たちが森口駅方面か

ら徒歩で帰園する最中でしたから、今振り返ってもヒヤリとします。行程がしっかり明示されていたため歩いてる地点の見当をつけることができて、すぐ近くまで職員がお迎えにいらることができました(後述⑤)。

①のときの動きは、①全館放送で一斉周知、②学園内の利用者を建物内に入れて建物外周の出入り口や窓の施錠の実施、③学園外にいる児童の安全確保の検討と対応、という手順で行いました。これは、何年か前に市内で不審者や強盗事件が発生したときに始め、発生ことに必要な手続きを追加していったものです。手順は明文化されていませんが、子どもたちの安全確保のために行ってきたことを自然と応用できました。国の方針に則れば、手順化と明文化をし、必要なら訓練の実施をする、ということになります。



今後の検討課題とします。



『クリスマス会』

余暇活動・学園行事係

12月22日、信濃学園クリスマス会が行われました。それに先立ち、12月19日には松本大学「サンタプロジェクト」の皆様が絵本を、12月22日にはザ・ビッグ山形店様がケーキとお菓子の詰め合わせを届けてくださり、利用者代表数名が皆様からの心のこもったプレゼントをいただきました。

当日は、利用者の皆さん一人一人がサンタさんからプレゼントを手渡され、ドキドキ、ワクワクしながら中を確認：歓喜の声が上がりました。笑顔あふれる楽しく嬉しい、そして美味しいひと時を過ごしました。

今年も皆様の温かいお心遣いに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

『令和7年度の研修について』

研修委員会

今年度の職員研修は、4月、7月、11月（7月と11月は松本ブロック研修と併せて開催）に行いました。松本ブロック研修では、松本ブロックの4事業所が集合し、虐待防止・権利擁護やメンタルヘルスの研修を講師の方を招いて聴講しました。グループワークを通して、事業所を越えての意見交換ができ、有意義な機会となりました。学園の職員研修では、感染症BCP、防災、AED訓練、防犯訓練、復命研修を行いました。講義だけでなく、事例を通して想定される職員の動きや課題の検討を行い、対策について検討しました。復命研修では、意思決定支援や障がい児・者とのコミュニケーション支援技術についての復命報告を行いました。報告した職員は、自身の復習の機会に、聴講した職員は、支援への活かし方や気づきを深める機会となりました。

今後必要な知識を習得し、専門性を身につけ、支援の質を向上させてい

けるような研修を企画していきたいと思えます。



『学園の行事食の在り方』

栄養士

学園では季節に合わせた行事食を年間60回提供しています。今回は節分についてお伝えします。節分は冬から春になる「立春」の前日、季節の変わり目になります。季節の変わり目は邪気が入りやすいと考えられており、豆まきをして邪気を払います。そして、幸運を司る神様の方向に向かって恵方巻を食べます。途中でおしゃべりしたり、食べきれないと幸運が逃げ去ってしまうと言われています。学園では豆は詰まらせる危険性があるため甘納豆に変え、恵方巻も同じように詰まらせる危険があるためちらし寿司にしています。形は違いますが「これを食

べきつたら今年はいい事があるよ。」と伝える事ではない、意味のある行事食になると思えます。

節分献立



- 花ちらし
- お吸い物
- 鰯の蒲焼
- 切り干し大根と大豆の煮物
- みかん

信濃学園はたけ日記 Vol3

信濃学園では各寮で家庭菜園程度の大きさですが畑で野菜を作っています。
今年度の作業の感想と来年度の抱負を利用者さんに聞きました。



来年（今年）はスイカとメロンとキュウリ、ピーマン、ナスを植えたいです。トマトは担当職員さんが苦手なので植えません(笑)！

東寮



来年（今年）はスイカとメロンを作りたいです。さつまいもも植えたいです。

こまくさ寮



畝立てをがんばりました。



今度はいちごを植えたいな。

南寮



【編集後記】
まだ寒さが続きますが、進級進学に向けて利用者の皆さんと一緒にわくわくドキドキしながら春のおとすれを楽しみにしています。今年度も信濃学園通信をご覧いただき、ありがとうございました。(S)

信濃学園ホームページ
<https://nagano-swc.com/shinano/>

今年度もたくさんのご寄付を
あのがんごうにありがとうございました。
ケーキ、お菓子、スイカ、
びょうご、衣類など

【利用者動向】
12月31日 じまぐち寮利用者1名
1月9日 西寮利用者1名
◎2名の利用者さんが退所しました。